

シクリスムエコーNo.96 2003年3月号

2003トラックワールドカップ第1戦	2	平成14年度 全国自転車競技指導者研修会	18
西日本チャレンジ・サイクル・ロードレース	3	資格審査委員会 決定事項	18
ジーロング・ツアー2003女子ステージレース	4	2003年度レース・カレンダーの変更	19
ロード・ワールドカップ女子第1戦	5	競技運営委員会よりのお知らせ	19
UCIニュース / JCFニュース	6	競技大会結果 / 加盟団体事務局の住所変更について ..	19
JCF競技規則2003年版 改訂事項一覧表	7	ACCトラックアジアカップ2003 日本ラウンド	19
第2回トラック・ナショナルチーム強化合宿	18	シクリスムエコー定期購読のお知らせ	20



2003トラックワールドカップ第1戦 <ロシア・モスクワ>



2003トラックワールドカップ第1戦がロシアのモスクワで2月14から16日まで行われ、6名の選手と7名のスタッフが参加しました。

私は今回ストレングスコーチという立場で参加しましたが、今回の私の仕事はストレングスコーチとして世界のトップ選手がウエイトトレーニングに対してどのような取り組みを行っているのかといった世界のウエイト事情を調査すること、それと世界レベルの大会を自分の目で実際に見て自分自身の意識改革を図ることが主な目的でした。

そもそも私はストレングスコーチという立場で一昨年の12月よりナショナルチームのトラック短距離を中心に携わるようになりました。それというのも現ナショナルチームの短距離部門においてオリンピックや世界選手権といった世界レベルの大会で日本が世界の強国と対等に勝負をして勝つために最も劣っているものは筋力、パワーといった体力要素であるという見解からでした。この話をナショナルチーム・ヘッドコーチのゲーリー・ウエスト氏をはじめ強化スタッフ及び各選手から常々聞いていました。しかしその世界との差を実際に自分の目で見て肌で感じる機会がなかったので正直なところ私自身意識の甘さがありました。しかし今回のワールドカップでそれを経験し私の意識は変わりました。

今回、世界のトップ選手として男子

はガネ、ウォルフ、キクシス、ピラヌエバ、女子でツィリンスカヤといったメンバーが参戦していましたが、私はこの各選手の自転車パフォーマンスを見て驚きました。とにかくパワーが素晴らしく瞬間的なダッシュ力とその持続力が特徴的で一言で例えるなら獲物を狙ったチーターのようでした。このパフォーマンスはまさに筋力、パワーに裏付けられたものでした。しかも各選手とも今年の初戦ということで未調整の状態でのパフォーマンスだったので、完全に調整して仕上げてきた時のことを想像するとゾッとする感じさえありました。

しかし、これで世界の現状を理解することが出来、ナショナルチームが世界で戦うために必要なウエイトトレーニングの方向性が見えてきたことは大きな収穫でした。

アテネオリンピックはもちろんのこと、北京やその先も含めて日本が世界で勝つためにはウエイト

レーニングで筋力、パワーといった体力要素を世界レベルにすることが必要不可欠ですので、サポートを継続して日本自転車界の強化発展に努めたいと考えています。(永友 憲治)

[競技結果]

男子スプリント

1	GAINE Laurent	FRA
2	BURAN Pavel	CZE
3	JERABEK Jaroslav	SVK
8	長塚 智広	JPN
9	金子 貴志	JPN

1kmタイムトライアル

1	NIMKE Stefan	GER	1:03.042
2	BOS Theo	NED	1:03.737
3	KREJNER Grzegorz	POL	1:03.813
6	伏見 俊昭	JPN	1:04.751

男子ケリツ

1	WOLF Rene	GER
2	HG Josian	MAS
3	VRBA Lvan	CZE
5	山田 裕仁	JPN

男子15kmスクラッチ

1	SLIPPENS Robert	NED
2	RASMUSSEN Alex	DEN
3	PERQUE Franck	FRA
4	飯島 規之	JPN

男子30kmポイントレース

1	GILMORE Matthew	BEL	42 p
2	LLANERAS ROSELLO Juan	ESP	35 p
3	IGNATIEV Mikhail	RUS	34 p
17	飯島 規之	JPN	2 p

男子チームスプリント

1	スペイン	1:00.323
2	ポランド	1:01.024
3	日本(神山・長塚・伏見)	1:00.926



2003トラックワールドカップ第3戦代表選手団

大会期間	平成15年4月11日～13日
派遣期間	平成15年4月7日～16日
開催場所	南アフリカ・ケープタウン
参加選手	金子 貴志(JPCA愛知)・中川誠一郎(JPCA熊本) 矢口啓一郎(JPCA群馬)・井上 昌己(JPCA長崎) 飯島 誠(JPCA)・遠藤 友子(大分)
監督	ゲーリー・ウエスト(連盟強化コーチ)
コーチ	班目 秀雄(連盟強化コーチ)
マシン	藤原富美男(連盟強化スタッフ)
マッサージ	柳 浩史(連盟強化スタッフ)
通訳	増田恵美子(連盟強化スタッフ)
JPCAコーチ	斎藤 克宜(JPCA強化コーチ)

第8回西日本チャレンジ・サイクル・ロードレース - シマノ圧勝 -



A-E シマノ4人並んでのフィニッシュ



A-F 優勝の唐見



A-J 優勝の畑中



A-U 1位の岩本(右)と2位の山本

[競技結果] (3/23 広島森林公園)

A-E (61.5km)

- | | | | |
|----|-------|-------------|------------|
| 1 | 今西 尚志 | シマル-ツグ | 1:32:25.16 |
| 2 | 狩野 智也 | シマル-ツグ | 1:32:25.51 |
| 3 | 阿部 良之 | シマル-ツグ | 1:32:25.70 |
| 4 | 鈴木 真理 | シマル-ツグ | 1:32:25.89 |
| 5 | 野寺 秀徳 | シマル-ツグ | 1:35:22.07 |
| 6 | 山本 雅道 | シマル-ツグ | 1:35:22.92 |
| 7 | 中川康二郎 | ミヤバ ル-ツグ | 1:35:23.23 |
| 8 | 田中 光輝 | 愛三工業 | 1:35:23.44 |
| 9 | 大内 薫 | シマル-ツグ | 1:35:24.24 |
| 10 | 和野内公次 | ナカノAS Kデザイン | 1:35:24.87 |

A-J (36.9km)

- | | | | |
|----|-------|---------|----------|
| 1 | 畑中 勇介 | 昭和第一学園 | 58:45.73 |
| 2 | 島田 真琴 | 八王子工業高校 | 58:50.04 |
| 3 | 西村 光太 | 三重高校 | 58:50.72 |
| 4 | 村上 純平 | 山形電波工業高 | 58:51.13 |
| 5 | 片山 和正 | 岡山工業高校 | 58:51.53 |
| 6 | 長沼 隆行 | 小松原高校 | 58:52.06 |
| 7 | 長 義幸 | 田辺高校 | 58:52.34 |
| 8 | 金山慎一朗 | 千葉経大附属高 | 58:54.37 |
| 9 | 石浦 一憲 | 北桑田高校 | 59:13.49 |
| 10 | 石井 陽 | 花園高校 | 59:27.98 |

A-U (36.9km)

- | | | | |
|---|--------|-------|----------|
| 1 | 岩本 竜太郎 | | 58:30.22 |
| 2 | 山本 敬純 | 立命館大学 | 58:44.47 |
| 3 | 向川 訓司 | 中央大学 | 58:46.42 |
| 4 | 辻 貴光 | 立命館大学 | 58:57.86 |
| 5 | 柏原 剛 | 立命館大学 | 58:58.70 |

- | | | | |
|----|-------|----------|----------|
| 6 | 桧原 稔明 | 中央大学 | 58:59.08 |
| 7 | 辻 善光 | 立命館大学 | 58:59.28 |
| 8 | 池田 丈志 | 鹿屋体育大学 | 58:59.69 |
| 9 | 清水 良行 | 京都産業大学 | 59:00.17 |
| 10 | 内山 靖樹 | ミヤバ ル-ツグ | 59:02.27 |

A-M (36.9km)

- | | | | |
|----|-------|--------------|------------|
| 1 | 松井 久 | シマル リンク | 1:01:29.00 |
| 2 | 山崎 範行 | チーム岡山 | 1:01:29.76 |
| 3 | 小牧 悟 | BALBA RACING | 1:01:33.94 |
| 4 | 後藤田 孝 | BALBA RACING | 1:01:36.06 |
| 5 | 森下 繁 | シマル リンク | 1:01:41.76 |
| 6 | 国末 明 | シマノケス | 1:01:43.19 |
| 7 | 安東 秀倫 | チーム岡山 | 1:02:57.46 |
| 8 | 吉田 安秀 | チームケス | 1:02:58.08 |
| 9 | 岩根 正晃 | ナカノAS Kデザイン | 1:02:59.06 |
| 10 | 三村 尚 | チーム岡山 | 1:03:00.68 |

A-F (24.6km)

- | | | | |
|----|-------|-----------------|----------|
| 1 | 唐見実世子 | バックスFM | 42:00.70 |
| 2 | 中村 珠藻 | 順天堂大学 | 45:33.56 |
| 3 | 小野山恵美 | equipe U Racing | 46:19.05 |
| 4 | 酒井 真清 | Testach Racing | 46:19.87 |
| 5 | 木村 清香 | BALBA RACING | 48:24.93 |
| 6 | 大森 智子 | Zippy ツツ RC | 48:27.90 |
| 7 | 坂田 佳子 | Team POLPO | 48:30.49 |
| 8 | 伊藤真理子 | Testach Racing | 48:37.75 |
| 9 | 前川 康子 | 明治大学 | 49:14.37 |
| 10 | 森 智恵美 | 北桑田高校 | 49:44.57 |



Titanium-Technology

筋肉を手本にしたチューブ。



アスリートの肉体的ように鍛え上げ、贅肉を削ぎ落とした。
3Dオプティマムバテッド・チタンチューブ、新開発。

鍛え上げられたアスリートの肉体的は、強靱でしなやか、かつ美しい。必要な筋肉は正しい曲面を描いて盛り上がり、ムクな贅肉はギリギリまで削ぎ落とされる。2003年、Panasonicはチタンチューブを徹底的にウェイトトレーニング。荷重のかかる部位のみ肉厚を上げ、不要な厚みを削り取る。この新開発"3Dオプティマムバテッド"により、高い剛性を維持したまま従来比約10%の軽量化を達成した。爆発的なスピードを安心して繰り出せる剛性感。軽さが生み出すキレのある敏捷性。アスリートであるあなたの肉体的が、その次元の違う進化を感じよう。



写真は完成車参考例

FCT 08 フレーム単体販売

WEIGHT 1,200g ^{530size}
(シートポスト・アルミム含む)

基本希望小売価格(税別) 210,000円~



次元が違う、進化である。——— 松下電器産業株式会社/ナショナル自転車工業株式会社 〒582-8501 大阪府柏原市片山町13-13 TEL.0729-77-1601 <http://www.panabyc.co.jp>

ロード女子オーストラリア遠征

昨年までキャンベラで行われていたロード女子のワールドカップがメルボルンに移り、メルボルンから100kmほど東南に走ったジーロングの町で、“ジーロング・ツアー2003 女子ステージレース”とセットで開催された。

ジーロング・ツアー2003 女子ステージレース



14チーム(内豪5チーム)、76名が参加。3日間のステージレースで全行程距離は228.6km。

ホテルから各ステージ会場への移動が30分以内だったため、時間に余裕のある大会であった。

2月23日(日)第1ステージ --- 30km
クリテリウム(1km×30周)

18時スタート、2ヶ所のきついコーナーがあり、立ち上がりが厳しいコース。前半はコースに慣れるために集団は一定ペースでレースが展開されるが、9周目に単独で飛び出した、Gollan Olivia(AIS)が、集団を15秒前後引き離し逃げる。

中間ポイントで集団のペースが上がり、許斐が遅れ続いて大塚、中村も遅れる。トップ集団で走っている沖も、今年初レースのためか緊張気味の走り、コーナーの入りかぎこちない。

スプリントポイントで後続集団のペースが上がるものの、微妙なタイム差を最後まで詰めることが出来ず、Gollan Olivia(AIS)が35秒差で逃げ切り優勝。

メイン集団でゴールした沖は11位、許斐、大塚、中村は周回遅れとなったが完走した。

2月24日(月)第2ステージ -- 84km
サーキットレース(21km×4周)

11時30分スタート。周回のラスト10kmから100mほど上る、アップダウンが5ヶ所あるコース。

朝から日差しが強く、急遽ゴール1km手前で補給が出来ることになり、

マッサーの石田さんにサポートしてもらおう。

スタート、ゴール地点のスプリントポイントで集団のペースが上がるが、2周終了までは集団に大きな動きもなく、3周目のラスト10kmからのアップダウンでアタックが始まり、大塚を含む数人の選手が集団から遅れる。

スプリントポイント地点通過後そのままペースが上がり、許斐、中村と続いて集団から遅れ、トップ集団には沖だけとなる。

ラスト周回最後の上りでアタックに成功したHemsley Margaret(Nurnb,V)が集団から抜け出し、そのまま逃げ切り優勝。

沖は集団の後方に位置しゴール勝負は出来ずに終わり、17位でゴール。遅れて中村、許斐、大塚の順でゴール。

2月25日(火)第3ステージ・114.6km
スタート&ゴール:Lara(Austin park)

ホテル9時出発。今大会最大の難所57km地点の上り坂(2km)15%以上の勾配は勝負を決定付ける。

10時30分スタート。霧雨が降っていたがレースがスタートして雨は上がり暑くなる。

レースリーダーのオーストラリア・ナショナルチームが集団をコントロールしレースが展開される。

40km地点からアタックが始まり、42km地点で集団から6名の選手が飛び出す、集団とのタイム差1分20秒で、今大会最大の難所、57km地点の激坂に入る。

集団が1列棒状となり、上り始めて集団がばらばらになり、自転車から降りて上る選手も出る中、沖の足がつり自転車から降りて上る。中村も降りてしまう。

激坂を上り切り、トップ集団は14名、第2集団に沖を含む27名、第4集団に許斐、第5集団に中村、大塚が入っている。

トップ集団と沖の集団の差が1分30秒。主力チームがトップ集団に入っているため第2集団のペースは上がらない。沖は自分で集団から抜け出すしかないが、思うような走りが出来ず、ラスト4kmでアタック、やっと集団から抜け出し、15秒差を付け16位でゴール。個人総合が15位で、UCIポイント1点を獲得した。

最終ステージの勝者はMactief Katie(VIS)、個人総合優勝はGollan Olivia(AIS)が獲得し、ジーロング・ツアー2003が終了した。

ロード・ワールドカップ女子 第1戦 ジーロング

ジーロング・ツアー2003に引き続き、





2003年ワールドカップ第1戦が3月2日ジーロングで行われた。

コースは海岸からメインストリートに800m上がる、1周7kmを17周する119km。2日前から気温が下がり、曇り17の中、78名がスタート。

2周目に入るところで6人の選手が集団から抜け出す。早い逃げに後続集団も中途半端な追い展開となり、1分前後で周回が過ぎる。逃げ集団に主要チームが入っているため、集団から逃げるよう指示を出す、思うように集団から抜け出すことが出来ない。

ラスト4周回で35秒差までつめるが、集団内で牽制があり、一気に2分30秒差に開きトップ集団を追うのをあきらめ8位以下のゴール勝負となった。

途中トップグループを追うために力を使った沖は、集団の前に位置しゴール勝負。第2集団の6位でゴールし13位、UCIポイント6点を獲得。

ワールドカップ第1戦を制したのは昨年の世界選手権4位のKarrigann Sara。写真判定での勝利であった。

(強化コーチ 高橋 松吉)



[競技結果]

ジ-ロング・ツ-2003 (2-9-2)

個人総合成績

1	Olivia Gollan	AUS A.I.S	6:38:51
2	Katie Mactier	AUS V.I.S	+0:53
3	Margaret Hemsley	AUS Nurnberge	+0:58
15	沖 美穂	JPN Japan	+4:05
29	嶋田 広子	JPN T. Grace	+6:20
34	唐見実世子	JPN World T.	+7:21
51	中村 珠藻	JPN Japan	+18:14
54	許斐真由子	JPN Japan	+22:46
59	大塚 歩	JPN Japan	+29:39

第1ステージ (30km)

1	Olivia Gollan	AUS A.I.S	49:27
2	Hayley Rutherford	AUS Road R.	+0:49
3	Alison Wright	AUS Road R.	"
11	沖 美穂	JPN Japan	"
34	唐見実世子	JPN World T.	+2:06
45	中村 珠藻	JPN Japan	+2:32
50	大塚 歩	JPN Japan	"
55	嶋田 広子	JPN T. Grace	"
67	許斐真由子	JPN Japan	+4:20

第2ステージ (84km)

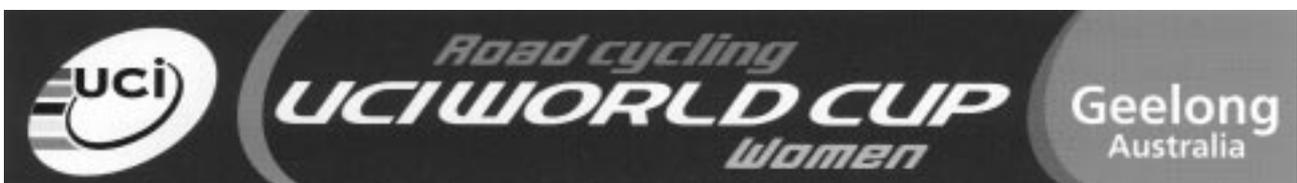
1	Margaret Hemsley	AUS Nurnberge	2:44:33
2	Sara Carrigan	AUS Powerplate	+0:05
3	Katie Mactier	AUS V.I.S.	"
17	沖 美穂	JPN Japan	+0:09
34	嶋田 広子	JPN T. Grace	+0:26
37	唐見実世子	JPN World T.m	+1:53
39	中村 珠藻	JPN Japan	+4:24
51	許斐真由子	JPN Japan	+7:08
62	大塚 歩	JPN Japan	+15:49

第3ステージ (114.6km)

1	Katie Mactier	AUS V.I.S.	3:05:06
2	Miriam Melchers	NED World T.	"
3	Olivia Gollan	AUS A.I.S.	"
16	沖 美穂	JPN Japan	+2:52
25	唐見実世子	JPN T. Grace	+3:07
36	嶋田 広子	JPN World T.	"
54	許斐真由子	JPN Japan	+11:03
56	大塚 歩	JPN Japan	"
57	中村 珠藻	JPN Japan	"

ロードワールドカップ 女子第1戦 (119km)

1	CARRIGAN Sara	AUS	3:10:5
2	MACTIER Katie	AUS	"
3	ARNDT Judith	GER	"
13	沖 美穂	JPN	+2:12
	中村 珠藻	JPN	DNF
	許斐真由子	JPN	DNF
	大塚 歩	JPN	DNF





2003年版UCI規則改訂の要点【訂正】

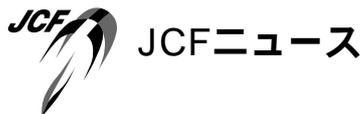
エコー95号でお知らせしたUCI規則改訂の情報が誤りがありましたので訂正いたします。

第3部 トラック・レース

項目	2003年規則 - 改訂点
200mタイム・トライアル	2002年版と同じ
スプリント	333.33m未満のトラックにおいては3周で競技を行なう。333.33m以上のトラックにおいては、2周で競技を行う。 30秒以上のスタンドスティルによる再スタートを命じる前に、1回の警告を与える。

(財)日本自転車競技連盟がTT/IIIとして承認した下記チームは、UCIへの登録が完了しました。

略号	チーム名	チーム国籍	登録日
NIP	NIPPON HODOX(日本舗道)	JPN	14.02.2003
BGT	TEAM BRIDGESTONE ANCHOR(チーム・ブリヂストン・アンカー)	JPN	25.02.2003
SHI	SHIMANO RACING(シマノ・レーシング)	JPN	25.02.2003
TOE	TEAM ORBEA ETXE - ONDOX(チーム・オルベア・エチェオンド)	JPN	06.03.2003



ヘルメットの新規公認(2003年4月1日より発効)

公認番号	公認日付	公認申請社	製造社	形式名	公認条件
7-208	2003/2/21(新規)	山本光学(株)	ジロ	ANIMAS(アニマス)	バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー・シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。
33-167	2003/3/1X(更新)	インターマックス	MET	Stradivarius(ストラディバリウス)	
33-183	2003/3/1X(更新)	インターマックス	MET	Ippogrifo(イポグリフォ)	
33-194	2003/3/1X(更新)	インターマックス	MET	V element(V-エレメント)	バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー・シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。

山本光学(株) 〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3-25-8 06-6783-1109

インターマックス 〒400-0074 山梨県甲府市千塚5-10-9 055-252-7333

SHIMANO

勝つための選択



SPD
SHIMANO PEDALING DYNAMICS

株式会社シマノ 〒590-8577 堺市老松町3丁77番地 「お客様相談窓口」電話 072-243-2829
当社の自転車部門の製品カタログご希望の方は、『カタログ希望』と明記し、300円切手同封の上、
〒590-0944 堺市榎屋町東1-1-1「シマノクラブPRセンター」宛にご郵送下さい。
シマノ自転車製品は、インターネットホームページ「http://cycle.shimano.co.jp」でもご覧になれます。

乗車したまま走りきるコースレイアウトがマウンテンバイクレースの世界的な流れになっています。シマノはよりペダリングを重視したSPDシューズ&ペダルをそろえています。

高強度カーボンソール搭載
軽量シューズ
SH-M220
¥17,800
標準小売価格(税別)



泥ハケ性能
ステップイン&アウト
フィーリングを
大幅に向上

PD-M959
¥13,700
標準小売価格(税別)



JCF競技規則2003年版 改訂事項一覧表

条 項	2002年版	2003年版
第 1 章 総 則		
第 2 条	(規則の適用) この競技規則は、日本国内で開催する自転車競技大会に適用する。	(規則の適用) この競技規則は、日本 における 国内 格式 の自転車競技大会に適用する。
第 2 章 ライセンス(登録証)		
第 6 条 1 (1)①5	(競技者) マスターズ:30歳以上の競技者でこの区分を選択した者 ただし、トレードチームⅢに属する競技者はこれを選択できない。	(競技者) マスターズ:30歳以上の競技者でこの区分を選択した者 ただし、トレードチームⅢ/Ⅳに属する競技者はこれを選択できない。
第 6 条 1 (1)①6		身体障害を持つ競技者
第 6 条 1 (1)②4	マスターズ:30歳以上の競技者でこの区分を選択した者。	マスターズ:30歳以上の競技者でこの区分を選択した者 トレードチーム(女子)に属する競技者はこれを選択できない。
第 6 条 1 (1)②5		身体障害を持つ競技者
第 3 章 競技者の装備		
第 8 条 7 (4)	(装備) 国内選手権保持者のジャージ: 個人ロード・レース国内選手権者は、そのジャージを着てはならない個人タイム・トライアルおよび世界選手権期間を除いて、すべてのロード・レースにおいてそのジャージを着用しなければならない。 ロード個人タイム・トライアル国内選手権者は、(世界選手権大会を除く)ロード個人タイム・トライアルにおいてそのジャージを着用しなければならないが、その他のレースにおいては着用できない。	(装備) 国内選手権保持者のジャージ: 個人ロード・レース国内選手権者は、そのジャージを着てはならない ワンデイ 個人タイム・トライアルおよび世界選手権期間を除いて、すべてのロード・レースにおいてそのジャージを着用しなければならない。 ロード個人タイム・トライアル国内選手権者は(世界選手権大会を除く)、 ワンデイ ロード個人タイム・トライアルにおいてそのジャージを着用しなければならないが、その他のレースにおいては着用できない。
第 5 章 自転車およびオートバイ		
第 1 6 条 3 (2)⑧	(トラック・レーサーおよびロード・レーサー) 自転車の車輪は、タイヤも含めて最大70cmから最小55cmのあらゆる寸法を採用できる。シクロクロス用自転車ではタイヤの最大幅は35mmとし、いかなる形式でもスパイクやスタッドを組み込んではならない。 第 1 6 条 2.(1),(2)に反しない場合 2002年より集	(トラック・レーサーおよびロード・レーサー) 自転車の車輪は、タイヤも含めて最大70cmから最小55cmのあらゆる寸法を採用できる。シクロクロス用自転車ではタイヤの最大幅は35mmとし、いかなる形式でもスパイクやスタッドを組み込んではならない。 第 1 6 条 2.(1),(2)に反しない場合 2002年より集

条 項	2002年版	2003年版
第42条3(2)	<p>(競技大会の準備) (安全確保) 可能であればトンネル内に照明を設け、トンネル内と入口において、10mの距離から自動車のナンバープレートが見え、50mの距離から暗色の自動車が見分けられるようにする。 前述する障害物は、プログラムまたはテクニカル・ガイドに示す。また、チーム代表者会議においても説明する。 主催者は、障害物を見出すために、競技に先立って点検のための車両を走らせる。</p>	<p>(競技大会の準備) (安全確保) 可能であればトンネル内に照明を設け、トンネル内と入口において、10mの距離から自動車のナンバープレートが見え、50mの距離から暗色の自動車が見分けられるようにする。 前述する障害物は、プログラムまたはテクニカル・ガイドに示す。また、<u>ワンデイ・レースにおいては</u>、チーム代表者会議においても説明する。 主催者は、障害物を見出すために、競技に先立って点検のための車両を走らせる。</p>
第13章 総務および競技担当役員の任務		
第57条2.	<p>(コミセール・パネル) コミセールは、違反行為と、その権限において科したペナルティを記録しなければならない。各コミセールは個々に、違反を監視し、それらを署名した報告書に記録する。コミセールの報告書は、最終的な監視した事実で構成する。 ペナルティはコミセール・パネルでの多数決により宣言される。</p>	<p>(コミセール・パネル) コミセールは、違反行為と、その権限において科したペナルティを記録しなければならない。各コミセールは個々に、違反を監視し、それらを署名した報告書に記録する。コミセールの報告書は、最終的な監視した事実で構成する。 ペナルティはコミセール・パネルでの多数決により宣言される。 <u>コミセール・パネルは、その解散の瞬間までに気付いた違反に関して意見を言うことができる。</u></p>
第14章 トラック・レース規則		
第63条	<p>(トラック・レース) トラック・レースは次のいずれかの参加者で行う： ・ジュニア ・すべてのカテゴリーでの競技またはカテゴリーごと</p>	<p>(トラック・レース) トラック・レースは次のいずれかの参加者で行う： ・ジュニア ・すべてのカテゴリーでの競技またはカテゴリーごと <u>いかなる場合にも、トラック上の競技者数は以下を超えてならない：</u> ・200mトラックにおいては20名(マディソンでは15チーム) ・250mトラックにおいては24名(マディソンでは18チーム) ・333.33mトラックにおいては36名(マディソンでは20チーム)</p>
第66条4.	<p>(スプリント) 競技は、周長 333.33mまたはそれ以内のトラックにおいては3周、周長 333.33mを超えるトラックにおいては2周で行う。</p>	<p>(スプリント) 競技は、周長 333.33m未滿のトラックにおいては3周、周長 333.33m以上のトラックにおいては2周で行う。</p>
第66条8.	<p>トラックの内側に位置する競技者は先行しなければならない。スタート以降先行競技者は1対戦につき1回のみ30秒以内のスタンドスタイルが許される。30秒以上あるいは2回目のスタンドスタイルがあった場合、スタータは競技を中止し、他の競技者にその対戦の勝利を宣言する。</p>	<p>トラックの内側に位置する競技者は先行しなければならない。スタート以降先行競技者は<u>30秒以上のスタンドスタイルをしてはならない</u>。国内大会においては1対戦につき1回のみ30秒以内のスタンドスタイルが許される。30秒以上あるいは2回目のスタンドスタイルがあった場合、スタータは、<u>1回の警告の後</u>、競技を中止し、他の競技者にその対戦の勝利を宣言する。</p>

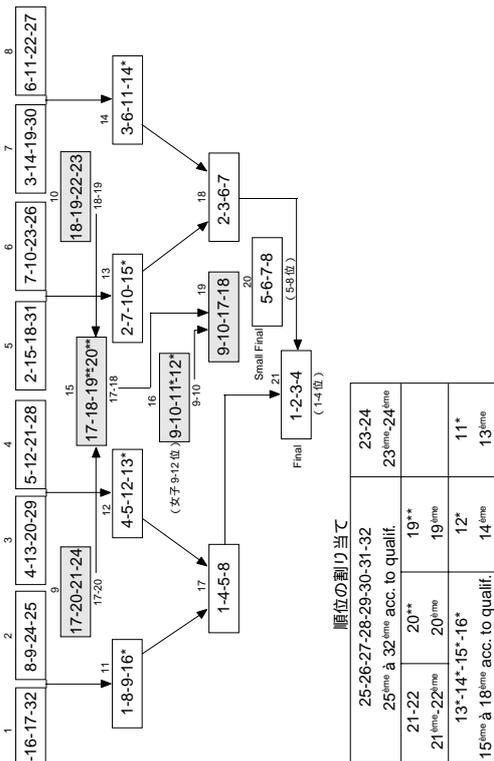
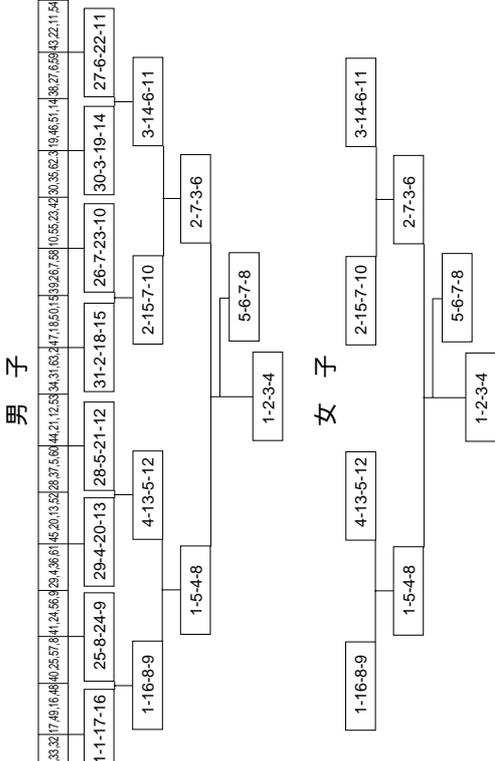
条 項	2002年版	2003年版																																																																																																																																																						
第68条9.	<p>(チーム・パーシュート/団体追抜競走)</p> <p>予選・1/4決勝では、最終周回以前に追いつかれたチームは走路を離れなければならない。これらのチームは、最後に完了した周回の平均速度で順位付けする。最終周回で追いつかれたチームは、競技を続行し、その順位は完走タイムに基づいて、最後の周回以前に追いつかれたチームより上位とし、追いつき勝ちのチームより下位として決定する。準決勝・決勝において追いつきがあった場合は、競技はその時点で終了し、追いついたチームを勝者とする。</p>	<p>(チーム・パーシュート/団体追抜競走)</p> <p>第1回戦 1/4決勝では、最終周回以前に追いつかれたチームは走路を離れなければならない。これらのチームは、完走距離で順位付けする。最終周回で追いつかれたチームは、競技を続行し、その順位は完走タイムに基づいて、最後の周回以前に追いつかれたチームより上位とし、追いつき勝ちのチームより下位として決定する。準決勝・決勝において追いつきがあった場合は、競技はその時点で終了し、追いついたチームを勝者とする。</p>																																																																																																																																																						
第68条20(2)	<p>最初の半周以降にチームが事故に遭った場合：認められる事故にひとりの競技者のみが関与した場合、そのチームは3名で競技を続行することも、停止することもできる。このチームが停止することを選択した場合、事故地点から1周以内に停止しない場合は、失格となる。この際、他方のチームは競技を続行しなければならない。認められない事故の場合、そのチームは3名で競技を続行しなければならない。</p> <p>1名の競技者が認められる事故に遭い停止したチームは、予選ラウンドの最後に、同様の事故に遭ったチームがあればいっしょに、再スタートしなければならない。</p> <p>事故後の走行中に事故(認められる事故であろうとなかろうと)に遭ったチームは失格となる。順位決定戦を含む各ラウンドにおいて、事故を原因とする再スタートは1回のみ認められる。</p>	<p>最初の半周以降にチームが事故に遭った場合：認められる事故にひとりの競技者のみが関与した場合、そのチームは3名で競技を続行することも、停止することもできる。このチームが停止することを選択した場合、事故地点から1周以内に停止しない場合は、失格となる。この際、他方のチームは競技を続行しなければならない。認められない事故の場合、そのチームは3名で競技を続行しなければならない。</p> <p>1名の競技者が認められる事故に遭い停止したチームは、予選ラウンドの最後に、同様の事故に遭ったチームがあればいっしょに、再スタートしなければならない。</p> <p>事故後の再走行中に事故(認められる事故であろうとなかろうと)に遭ったチームは、3人未満で競技を続けることはできず、失格となる。順位決定戦を含む各ラウンドにおいて、事故を原因とする再スタートは1回のみ認められる。</p>																																																																																																																																																						
第68条20(3)		国内大会においては、上記(1)(2)項の「最初の半周」を「最初の30m」に読み替える。																																																																																																																																																						
第70条2.	<p>(ポイント・レース)</p> <p>中間スプリントは、2kmまたは2kmに近い周回数毎に設定する。ただし、250mあるいはこれより短いトラックにおいては、中間スプリントは10周ごとに行う。</p> <p>次の競技大会においては次の表の距離で行う：世界選手権大会、オリンピック競技大会の選考会では、それらの大会の距離に準ずる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">男 子</th> <th colspan="4">女 子</th> </tr> <tr> <th colspan="2">シニア</th> <th colspan="2">ジュニア</th> <th colspan="2">シニア</th> <th colspan="2">ジュニア</th> </tr> <tr> <th>予選</th> <th>決勝</th> <th>予選</th> <th>決勝</th> <th>予選</th> <th>決勝</th> <th>予選</th> <th>決勝</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オリンピック</td> <td></td> <td>40</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>世界選手権</td> <td></td> <td>30</td> <td>15/16</td> <td>24/25</td> <td></td> <td>24/25</td> <td>10</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ワールドカップ</td> <td></td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国民体育大会</td> <td>16</td> <td>30</td> <td>16</td> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高校総合体育大会</td> <td></td> <td></td> <td>16</td> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男 子				女 子				シニア		ジュニア		シニア		ジュニア		予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝	オリンピック		40				24				世界選手権		30	15/16	24/25		24/25	10	20		ワールドカップ		30				20				国民体育大会	16	30	16	24						高校総合体育大会			16	24						<p>(ポイント・レース)</p> <p>中間スプリントは、2kmまたは2kmに近い周回数毎に設定する。ただし、250mあるいはこれより短いトラックにおいては、中間スプリントは10周ごとに行う。</p> <p>次の競技大会においては次の表の距離で行う：世界選手権大会、オリンピック競技大会の選考会では、それらの大会の距離に準ずる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">男 子</th> <th colspan="4">女 子</th> </tr> <tr> <th colspan="2">シニア</th> <th colspan="2">ジュニア</th> <th colspan="2">シニア</th> <th colspan="2">ジュニア</th> </tr> <tr> <th>予選</th> <th>決勝</th> <th>予選</th> <th>決勝</th> <th>予選</th> <th>決勝</th> <th>予選</th> <th>決勝</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オリンピック</td> <td></td> <td>40</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>世界選手権</td> <td></td> <td>40</td> <td>15/16</td> <td>24/25</td> <td></td> <td>24/25</td> <td>10</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ワールドカップ</td> <td></td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国民体育大会</td> <td>16</td> <td>30</td> <td>16</td> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高校総合体育大会</td> <td></td> <td></td> <td>16</td> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男 子				女 子				シニア		ジュニア		シニア		ジュニア		予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝	オリンピック		40				24				世界選手権		40	15/16	24/25		24/25	10	20		ワールドカップ		30				20				国民体育大会	16	30	16	24						高校総合体育大会			16	24					
	男 子				女 子																																																																																																																																																			
	シニア		ジュニア		シニア		ジュニア																																																																																																																																																	
	予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝																																																																																																																																																
オリンピック		40				24																																																																																																																																																		
世界選手権		30	15/16	24/25		24/25	10	20																																																																																																																																																
ワールドカップ		30				20																																																																																																																																																		
国民体育大会	16	30	16	24																																																																																																																																																				
高校総合体育大会			16	24																																																																																																																																																				
	男 子				女 子																																																																																																																																																			
	シニア		ジュニア		シニア		ジュニア																																																																																																																																																	
	予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝																																																																																																																																																
オリンピック		40				24																																																																																																																																																		
世界選手権		40	15/16	24/25		24/25	10	20																																																																																																																																																
ワールドカップ		30				20																																																																																																																																																		
国民体育大会	16	30	16	24																																																																																																																																																				
高校総合体育大会			16	24																																																																																																																																																				

条 項	2002年版	2003年版																																																				
第70条3.	中間と最終スプリントの最初の4人の競技者の得点は次のとおり .1位は5点 ,2位は3点 ,3位は2点および4位は1点 .主集団に追いついた競技者には10点を与える .	中間と最終スプリントの最初の4人の競技者の得点は次のとおり .1位は5点 ,2位は3点 ,3位は2点および4位は1点 .主集団に追いついた競技者には20点を与える . <u>主集団より1周回遅れた競技者は20点を差し引かれる .</u>																																																				
第70条8.	競技者が ,最大の集団の後尾に追付いた時 ,追いついたとみなされ10点を与えられる .ただし ,集団の大きさは ,追付いた結果の数で比較する .競技者が最大の集団に追いつかれた場合は10点を失う .	競技者が ,最大の集団の後尾に追付いた時 ,追いついたとみなされ20点を与えられる .ただし ,集団の大きさは ,追付いた結果の数で比較する .競技者が最大の集団に追いつかれた場合は20点を失う .																																																				
第70条10.	中間スプリントのときに ,1名または複数の競技者が最大集団に追いついた場合 ,この(これらの)競技者は周回を獲得したものと認められ10点を与えられる .スプリントにおいて与えられる得点は ,ただちに ,その後方あるいは集団の前方の競技者に与えられる .	中間スプリントのときに ,1名または複数の競技者が最大集団に追いついた場合 ,この(これらの)競技者は周回を獲得したものと認められ20点を与えられる .スプリントにおいて与えられる得点は ,ただちに ,その後方あるいは集団の前方の競技者に与えられる .																																																				
第70条16.	走路が何らかの理由により競技不能の状態になった場合 ,コミセールは次の表に従って判断する: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>同日中に全距離を再スタート</th> <th>中断時点での成績を継続して再スタート</th> <th>中断時点での成績を最終成績とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10km</td> <td>8km 以前で中断</td> <td>/</td> <td>8km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>15/16km</td> <td>10km 以前で中断</td> <td>/</td> <td>10km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>20km</td> <td>10km 以前で中断</td> <td>10 ~ 15km で中断</td> <td>15km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>24/25km</td> <td>10km 以前で中断</td> <td>10 ~ 20km で中断</td> <td>20km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>30km</td> <td>15km 以前で中断</td> <td>15 ~ 25km で中断</td> <td>25km 以降に中断</td> </tr> </tbody> </table>		同日中に全距離を再スタート	中断時点での成績を継続して再スタート	中断時点での成績を最終成績とする	10km	8km 以前で中断	/	8km 以降に中断	15/16km	10km 以前で中断	/	10km 以降に中断	20km	10km 以前で中断	10 ~ 15km で中断	15km 以降に中断	24/25km	10km 以前で中断	10 ~ 20km で中断	20km 以降に中断	30km	15km 以前で中断	15 ~ 25km で中断	25km 以降に中断	走路が何らかの理由により競技不能の状態になった場合 ,コミセールは次の表に従って判断する: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>同日中に全距離を再スタート</th> <th>中断時点での成績を継続して再スタート</th> <th>中断時点での成績を最終成績とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10km</td> <td>8km 以前で中断</td> <td>/</td> <td>8km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>15/16km</td> <td>10km 以前で中断</td> <td>/</td> <td>10km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>20km</td> <td>10km 以前で中断</td> <td>10 ~ 15km で中断</td> <td>15km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>24/25km</td> <td>10km 以前で中断</td> <td>10 ~ 20km で中断</td> <td>20km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>30km</td> <td>15km 以前で中断</td> <td>15 ~ 25km で中断</td> <td>25km 以降に中断</td> </tr> <tr> <td>40km</td> <td>15km 以前で中断</td> <td>15 ~ 30km で中断</td> <td>30km 以降に中断</td> </tr> </tbody> </table>		同日中に全距離を再スタート	中断時点での成績を継続して再スタート	中断時点での成績を最終成績とする	10km	8km 以前で中断	/	8km 以降に中断	15/16km	10km 以前で中断	/	10km 以降に中断	20km	10km 以前で中断	10 ~ 15km で中断	15km 以降に中断	24/25km	10km 以前で中断	10 ~ 20km で中断	20km 以降に中断	30km	15km 以前で中断	15 ~ 25km で中断	25km 以降に中断	40km	15km 以前で中断	15 ~ 30km で中断	30km 以降に中断
	同日中に全距離を再スタート	中断時点での成績を継続して再スタート	中断時点での成績を最終成績とする																																																			
10km	8km 以前で中断	/	8km 以降に中断																																																			
15/16km	10km 以前で中断	/	10km 以降に中断																																																			
20km	10km 以前で中断	10 ~ 15km で中断	15km 以降に中断																																																			
24/25km	10km 以前で中断	10 ~ 20km で中断	20km 以降に中断																																																			
30km	15km 以前で中断	15 ~ 25km で中断	25km 以降に中断																																																			
	同日中に全距離を再スタート	中断時点での成績を継続して再スタート	中断時点での成績を最終成績とする																																																			
10km	8km 以前で中断	/	8km 以降に中断																																																			
15/16km	10km 以前で中断	/	10km 以降に中断																																																			
20km	10km 以前で中断	10 ~ 15km で中断	15km 以降に中断																																																			
24/25km	10km 以前で中断	10 ~ 20km で中断	20km 以降に中断																																																			
30km	15km 以前で中断	15 ~ 25km で中断	25km 以降に中断																																																			
40km	15km 以前で中断	15 ~ 30km で中断	30km 以降に中断																																																			
第71条5.	(ケイリン) スタートは ,ペーサーがスプリンター・レーンにおいて中央線に接近する時に行う .抽選で1番となった競技者は他競技者が追走しない場合 ,直ちに少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない .	(ケイリン) スタートは ,ペーサーがスプリンター・レーンにおいて中央線に接近する時に行う .抽選で1番となった競技者は他競技者が追走しない場合 ,直ちに少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならず , <u>これを行なわなかった場合直ちにレースを中止し ,その競技者を除外する .再スタートにあたっては 2番となった競技者が直ちにペーサーを追走しなければならない .</u>																																																				
第71条10.		<u>日本国内の競技において ,ペーサーがトラックを離れる前に事故が起きた場合 ,再スタートを行う .</u>																																																				
第73条16.	(マディソン) 荒天により競技が中断した場合 ,コミセールは以下のように決定する: <table border="1"> <thead> <tr> <th>競技距離</th> <th colspan="3">決定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>同日中に全距離を再スタート</td> <td>中断時点での成績を継続して再スタート</td> <td>中断時点での成績を最終成績とする</td> </tr> <tr> <td>50km</td> <td>20km 以前で中断</td> <td>20 ~ 40km で中断</td> <td>40km 以降に中断</td> </tr> </tbody> </table>	競技距離	決定事項				同日中に全距離を再スタート	中断時点での成績を継続して再スタート	中断時点での成績を最終成績とする	50km	20km 以前で中断	20 ~ 40km で中断	40km 以降に中断	(マディソン) 荒天により競技が中断した場合 ,コミセールは以下のように決定する: <table border="1"> <thead> <tr> <th>中断:</th> <th>エリート</th> <th>ジュニア</th> <th>決定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>右記の距離以前</td> <td>20km</td> <td>10km</td> <td>同日中に全距離を再スタート</td> </tr> <tr> <td>右記の距離間</td> <td>20 ~ 40km</td> <td>10 ~ 25km</td> <td>中断時点での成績を継続して再スタート</td> </tr> <tr> <td>右記の距離以降</td> <td>40km</td> <td>25km</td> <td>中断時点での成績を最終成績とする</td> </tr> </tbody> </table>	中断:	エリート	ジュニア	決定事項	右記の距離以前	20km	10km	同日中に全距離を再スタート	右記の距離間	20 ~ 40km	10 ~ 25km	中断時点での成績を継続して再スタート	右記の距離以降	40km	25km	中断時点での成績を最終成績とする																								
競技距離	決定事項																																																					
	同日中に全距離を再スタート	中断時点での成績を継続して再スタート	中断時点での成績を最終成績とする																																																			
50km	20km 以前で中断	20 ~ 40km で中断	40km 以降に中断																																																			
中断:	エリート	ジュニア	決定事項																																																			
右記の距離以前	20km	10km	同日中に全距離を再スタート																																																			
右記の距離間	20 ~ 40km	10 ~ 25km	中断時点での成績を継続して再スタート																																																			
右記の距離以降	40km	25km	中断時点での成績を最終成績とする																																																			

条 項	2002年版	2003年版										
第74条2.	(スクラッチ) スタートする競技者数の最大限度は24名である:	(スクラッチ) トラック上に許容される最大競技者数に達する場合、エントリした競技者数を減らすために下表に従って予選を行わなければならない:										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>カテゴリ</th> <th>競走距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エリート男子</td> <td>10km</td> </tr> <tr> <td>エリート女子</td> <td>7.5km</td> </tr> <tr> <td>ジュニア男子</td> <td>7.5km</td> </tr> <tr> <td>ジュニア女子</td> <td>5km</td> </tr> </tbody> </table>	カテゴリ	競走距離	エリート男子	10km	エリート女子	7.5km	ジュニア男子	7.5km	ジュニア女子	5km
カテゴリ	競走距離											
エリート男子	10km											
エリート女子	7.5km											
ジュニア男子	7.5km											
ジュニア女子	5km											
第74条5.	1名の競技者がその他の全員を追い越した場合、スタートは競技終了を宣する。最後に追い越された競技者を2位とし、最後から2番目に追い越された競技者を3位とする。複数の競技者が集団を追い越した場合、それらの競技者は全競技距離を完走する。追い越された全競技者は除外される。	最終順位は、獲得周回を考慮に入れて、最終スプリントにより決定する。										
第15章 ロード・レース規則												
第84条8.(2)	(ロード・レース) タイム・トライアルを除き、チーム・カーは、単座席、ミニバス、バンは使用できない。	(ロード・レース) タイム・トライアルを除き、 レースに随行するすべての車両は、最大車高を1.60mに制限される。										
第85条31.	(ワンデイ・ロード・レース) チーム順位は任意である。これは、各チームの上位3者の個人タイムの合計を基準とする。同順位となった場合、それら上位3競技者の獲得順位の合計によって順位付ける。	(ワンデイ・ロード・レース) チーム順位は任意である。これは、各チームの上位3者の個人タイムの合計を基準とする。同順位となった場合、それら上位3競技者の獲得順位の合計によって順位付ける。 再度同順位となった場合、それらチームの最上位の競技者の順位によって順位付ける。										
第86条16.	(チーム・タイム・トライアル) 原則として、コミセールまたはチームと異なる国の国内連盟の代表を乗せた車両が、各チームを追走する。	(チーム・タイム・トライアル) (削除)										
第87条17.	(個人タイム・トライアル・ロード・レース) 原則として、コミセールまたは競技者と異なる国の国内連盟の代表を乗せた車両が、各競技者を追走する。	(個人タイム・トライアル・ロード・レース) (削除)										
第88条4.(1)	(ステージ・レース) 団体区間順位は、各チームにおける上位3名の個人時間の合計を基準とする。同タイムとなった場合、当該ステージにおける各チームの上位3名の獲得順位の合計により順位付ける。 団体総合順位は、各ステージにおける各チームの上位3名の個人時間の合計を基準とする。同タイムとなった場合、順位付けのために下記の基準を	(ステージ・レース) 団体区間順位は、各チームにおける上位3名の個人時間の合計を基準とする。同タイムとなった場合、当該ステージにおける各チームの上位3名の獲得順位の合計により順位付ける。 さらに同順位になった場合には、ステージ順位における各チーム最上位競技者の順位により順位付ける。 団体総合順位は、各ステージにおける各チームの										

条 項	2002年版	2003年版
	適用する: 1. 団体区間順位における1位獲得数 2. 団体区間順位における2位獲得数 以下同様. 3人未満に減少したチームは団体総合時間から除外される.	上位3名の個人時間の合計を基準とする.同タイムとなった場合,順位付けのために下記の基準を適用する: 1. 団体区間順位における1位獲得数 2. 団体区間順位における2位獲得数 以下同様. <u>それでも同順位となった場合には,個人総合順位における各チーム最上位競技者の順位により順位付ける.</u> 3人未満に減少したチームは団体総合時間から除外される.
第88条4 (2)	総合ポイント最終順位において同点となった場合,順位付けのために下記の基準を適用する:	<u>個人</u> 総合ポイント最終順位において同点となった場合,順位付けのために下記の基準を適用する:
第88条4 (3)	総合山岳賞最終順位において同点となった場合,順位付けのために下記の基準を適用する:	<u>個人</u> 総合山岳賞最終順位において同点となった場合,順位付けのために下記の基準を適用する:
第88条6 (1)	3大ステージ・レース(ツール,ジロ,ヴェルタ) 中間スプリント回数: ・ハーフ・ステージ 最多2回 ・通常のステージ 最多3回 ボーナスの最大値: ・中間スプリント 6秒 - 4秒 - 2秒 ・フィニッシュ: ハーフ・ステージ 12秒 - 8秒 - 4秒 通常のステージ 20秒 - 12秒 - 4秒	3大ステージ・レース(ツール,ジロ,ヴェルタ) 中間スプリント回数: ・ハーフ・ステージ 最多2回 ・通常のステージ 最多3回 ボーナス: ・中間スプリント 6秒 - 4秒 - 2秒 ・フィニッシュ: ハーフ・ステージ 12秒 - 8秒 - 4秒 通常のステージ 20秒 - 12秒 - 4秒
第88条6 (2)	その他のステージ・レース 中間スプリント回数: ・ハーフ・ステージ 最多1回 ・通常のステージ 最多3回 ボーナスの最大値: ・中間スプリント 3秒 - 2秒 - 1秒 ・フィニッシュ: ハーフ・ステージ 6秒 - 4秒 - 2秒 通常のステージ 10秒 - 6秒 - 4秒	その他のステージ・レース 中間スプリント回数: ・ハーフ・ステージ 最多1回 ・通常のステージ 最多3回 ボーナス: ・中間スプリント 3秒 - 2秒 - 1秒 ・フィニッシュ: ハーフ・ステージ 6秒 - 4秒 - 2秒 通常のステージ 10秒 - 6秒 - 4秒
第88条10 .	個人タイム・トライアル・ステージのスタート順は,個人総合時間順位の逆順で行う.しかし,コミセールは同じチームの競技者が続けてスタートしないように変更を加えることができる. プロローグまたは第1ステージにおいて個人タイム・トライアルを行う場合は,主催者がコミセール・パネルの同意を得て決定する.	個人タイム・トライアル・ステージのスタート順は,個人総合時間順位の逆順で行う.しかし,コミセールは同じチームの競技者が続けてスタートしないように変更を加えることができる. プロローグまたは第1ステージにおいて個人タイム・トライアルを行う場合は,主催者がコミセール・パネルの同意を得て <u>各チームの</u> スタート順を決定する; <u>各チームは,競技者のそのチーム内のスタート順を決定する.</u>

条 項	2002年版	2003年版
第 8 8 条 1 3 .	競技を棄権した競技者は、そのステージ・レースが行われている期間に行われる他の競技に参加することはできない。これに違反した場合は、15日間の資格停止と 200～1000SFrの罰金を科す。しかしながら、大会事務局とコミセール・パネルは協同して、当該チーム監督またはチーム代表の同意を得た競技者の要望により、例外を認めることができる。	競技を棄権した競技者は、そのステージ・レースが行われている期間に行われる他の競技に参加することはできない。これに違反した場合は、15日間の資格停止と 200～1000SFrの罰金を科す。しかしながら、 3大ステージ・レースにおいては、 大会事務局とコミセール・パネルは協同して、当該チーム監督またはチーム代表の同意を得た競技者の要望により、例外を認めることができる。
第 1 6 章 シクロ・クロス規則		
第 9 1 条 2 1 .	(シクロ・クロス) ピットはスピードがあまり生じない場所に設置し、石の多いコースまたは下り勾配は避ける。ピットには、人工障害物を設けないものとする。各周回で、競技者が極めて相互に近い2点を通る場合、ダブル・ピットとして知られる、1箇所のピットをその場所に設置できる。	(シクロ・クロス) ピットはスピードがあまり生じない場所に設置し、石の多いコースまたは下り勾配は避ける。ピットには、人工障害物を設けないものとする。各周回で、競技者が極めて相互に近い2点を通る場合、ダブル・ピットとして知られる、1箇所のピットをその場所に設置できる。 2003年9月1日以降、国内選手権大会において、ダブル・ピット設置は義務付けられる。
第 9 1 条 2 5 .	器材ピットが2箇所ある場合、ひとつの器材ピットで2台の自転車、あるいは二つの器材ピットで1台ずつの交換が認められる。競技者は指定されたピット内でのみ自転車または車輪の交換をすることができる。コースにダブル・ピットがある場合、両方で自転車交換をすることができる。器材ピットの終端まで達した競技者は、自転車または車輪の交換をするためには、次の器材ピットまでそのまま行かなければならない。黄色い旗で示された区間で競技レーンを走行している競技者が突然ピットに入る必要ができた場合、ピット・レーンに入るためにコースを逆行する必要がある。ホイールおよび自転車は、ピット内の同一の場所において交換する。競技者間でホイールまたは自転車を交換することはできない。	競技者は指定されたピット内でのみ自転車または車輪の交換をすることができる。 競技者はどのピットにおいても車輪あるいは自転車を交換することができる。 競技者は、自転車または車輪の交換のためにのみピット・レーンを使用することができる。 器材ピットの終端まで達した競技者は、自転車または車輪の交換をするためには、次の器材ピットまでそのまま行かなければならない。黄色い旗で示された区間で競技レーンを走行している競技者が突然ピットに入る必要ができた場合、ピット・レーンに入るためにコースを逆行する必要がある。ホイールおよび自転車は、ピット内の同一の場所において交換する。競技者間でホイールまたは自転車を交換することはできない。
第 9 1 条 2 7 .	競技者は、先頭の16名はUCIが作成するワールドカップランキングおよび累進的ICCランキングに従って、競技開始10分前よりスタート地点に並ぶことができる。	競技者は、先頭の16名はUCIが作成するワールドカップランキングおよび累進的ICCランキングに従って、競技開始10分前よりスタート地点に並ぶことができる。 競技者は少なくとも片足を地面についてスタートを待たなければならない。これに従わない者は、スタート・レーンの後方に送られる。

条 項	2002年版	2003年版																																																																
第 17章 マウンテンバイク規則																																																																		
第92条1.(3)①1	(マウンテンバイク規則) 国際競技カテゴリーA,B,C,DにおいてはUCIマウンテンバイク委員会が任命し,カテゴリーEにおいては主催国連盟が任命する.	(マウンテンバイク規則) 国際競技カテゴリーA,B,C,DHc,DにおいてはUCIマウンテンバイク委員会が任命し,カテゴリーEにおいては主催国連盟が任命する.																																																																
第92条1.(3)②1.1	国際カテゴリーA,B,D大会においては,UCIマウンテンバイク委員会により任命.カテゴリーC大会においては各大陸連合が任命.カテゴリーE大会は主催国連盟が任命する.これらは国際A級マウンテンバイク・コミセールでなければならない.	国際カテゴリーA,B,C,DHc,D1大会においては,UCIマウンテンバイク委員会により任命.カテゴリーC大会においては各大陸連合が任命.カテゴリーD2およびD1大会は主催国連盟が任命する.これらは国際A級マウンテンバイク・コミセールでなければならない.																																																																
第92条1.(6)⑦1	メジャー・ステージ・レースは最低5日から最大8日とし,1日の休息日(とプロローグ)を含む.これらは,カテゴリーD1の大会とされる.	メジャー・ステージ・レースは最低5日から最大8日とし,1日の休息日(とプロローグ)を含む.これらは,カテゴリーDHcおよびD1の大会とされる.																																																																
第92条1.(9)⑨	抗議	(削除)																																																																
第92条2.(1)②	<p>クロスカンントリー周回競技の最適競技時間は以下の範囲である(時間:分):</p> <table border="1" data-bbox="383 1052 877 1276"> <thead> <tr> <th></th> <th>最短</th> <th>最適</th> <th>最長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.1.2.1. ジュニア男子</td> <td>1:30</td> <td>1:45</td> <td>2:00</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.2. ジュニア女子</td> <td>1:15</td> <td>1:30</td> <td>1:45</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.3. エリート男子 U/23</td> <td>1:45</td> <td>2:00</td> <td>2:15</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.4. エリート男子 エリート</td> <td>1:45</td> <td>2:00</td> <td>2:15</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.5. エリート女子</td> <td>1:45</td> <td>2:00</td> <td>2:15</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.6. マスターズ男子</td> <td>1:30</td> <td>1:45</td> <td>2:00</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.7. マスターズ女子</td> <td>1:15</td> <td>1:30</td> <td>1:45</td> </tr> </tbody> </table>		最短	最適	最長	2.1.2.1. ジュニア男子	1:30	1:45	2:00	2.1.2.2. ジュニア女子	1:15	1:30	1:45	2.1.2.3. エリート男子 U/23	1:45	2:00	2:15	2.1.2.4. エリート男子 エリート	1:45	2:00	2:15	2.1.2.5. エリート女子	1:45	2:00	2:15	2.1.2.6. マスターズ男子	1:30	1:45	2:00	2.1.2.7. マスターズ女子	1:15	1:30	1:45	<p>クロスカンントリー周回競技の最適競技時間は以下の範囲である(時間:分):</p> <table border="1" data-bbox="925 1052 1420 1276"> <thead> <tr> <th></th> <th>最短</th> <th>最適</th> <th>最長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.1.2.1. ジュニア男子</td> <td>1:30</td> <td>1:45</td> <td>2:00</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.2. ジュニア女子</td> <td>1:15</td> <td>1:30</td> <td>1:45</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.3. U/23</td> <td>1:45</td> <td>2:00</td> <td>2:15</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.4. エリート男子</td> <td><u>2:00</u></td> <td><u>2:15</u></td> <td><u>2:30</u></td> </tr> <tr> <td>2.1.2.5. エリート女子</td> <td><u>2:00</u></td> <td><u>2:15</u></td> <td><u>2:30</u></td> </tr> <tr> <td>2.1.2.6. マスターズ男子</td> <td>1:30</td> <td>1:45</td> <td>2:00</td> </tr> <tr> <td>2.1.2.7. マスターズ女子</td> <td>1:15</td> <td>1:30</td> <td>1:45</td> </tr> </tbody> </table>		最短	最適	最長	2.1.2.1. ジュニア男子	1:30	1:45	2:00	2.1.2.2. ジュニア女子	1:15	1:30	1:45	2.1.2.3. U/23	1:45	2:00	2:15	2.1.2.4. エリート男子	<u>2:00</u>	<u>2:15</u>	<u>2:30</u>	2.1.2.5. エリート女子	<u>2:00</u>	<u>2:15</u>	<u>2:30</u>	2.1.2.6. マスターズ男子	1:30	1:45	2:00	2.1.2.7. マスターズ女子	1:15	1:30	1:45
	最短	最適	最長																																																															
2.1.2.1. ジュニア男子	1:30	1:45	2:00																																																															
2.1.2.2. ジュニア女子	1:15	1:30	1:45																																																															
2.1.2.3. エリート男子 U/23	1:45	2:00	2:15																																																															
2.1.2.4. エリート男子 エリート	1:45	2:00	2:15																																																															
2.1.2.5. エリート女子	1:45	2:00	2:15																																																															
2.1.2.6. マスターズ男子	1:30	1:45	2:00																																																															
2.1.2.7. マスターズ女子	1:15	1:30	1:45																																																															
	最短	最適	最長																																																															
2.1.2.1. ジュニア男子	1:30	1:45	2:00																																																															
2.1.2.2. ジュニア女子	1:15	1:30	1:45																																																															
2.1.2.3. U/23	1:45	2:00	2:15																																																															
2.1.2.4. エリート男子	<u>2:00</u>	<u>2:15</u>	<u>2:30</u>																																																															
2.1.2.5. エリート女子	<u>2:00</u>	<u>2:15</u>	<u>2:30</u>																																																															
2.1.2.6. マスターズ男子	1:30	1:45	2:00																																																															
2.1.2.7. マスターズ女子	1:15	1:30	1:45																																																															
(4X組合せ)	 <p>順位の割り当て</p> <table border="1" data-bbox="718 1680 877 2060"> <tbody> <tr> <td>25-26-27-28-29-30-31-32</td> <td>23-24</td> </tr> <tr> <td>25^{time} à 32^{time} acc. to qualif.</td> <td>23^{time}, 24^{time}</td> </tr> <tr> <td>21-22</td> <td>19**</td> </tr> <tr> <td>21^{time}, 22^{time}</td> <td>19^{time}</td> </tr> <tr> <td>13*-14*-15*-16*</td> <td>12*</td> </tr> <tr> <td>15^{time} à 18^{time} acc. to qualif.</td> <td>14^{time}, 13^{time}</td> </tr> </tbody> </table>	25-26-27-28-29-30-31-32	23-24	25 ^{time} à 32 ^{time} acc. to qualif.	23 ^{time} , 24 ^{time}	21-22	19**	21 ^{time} , 22 ^{time}	19 ^{time}	13*-14*-15*-16*	12*	15 ^{time} à 18 ^{time} acc. to qualif.	14 ^{time} , 13 ^{time}	 <p>男子</p> <p>女子</p>																																																				
25-26-27-28-29-30-31-32	23-24																																																																	
25 ^{time} à 32 ^{time} acc. to qualif.	23 ^{time} , 24 ^{time}																																																																	
21-22	19**																																																																	
21 ^{time} , 22 ^{time}	19 ^{time}																																																																	
13*-14*-15*-16*	12*																																																																	
15 ^{time} à 18 ^{time} acc. to qualif.	14 ^{time} , 13 ^{time}																																																																	

条 項	2002年版	2003年版																								
第 2 3 章 医事検査																										
第 9 9 条 8 .(3)3	(医事検査) ステージ・レース中に本条 8 .(2)①に定めるドーピング違反が行われ、この件の処罰として警告が行われなかった場合には、自動的に失格としない。当該競技者が失格とならない場合には、競技者が陽性とみなされたステージの区間時間を 1% 加算し、すべての順位をこれに応じて修正する。当該競技者は、そのステージで得たすべての賞金を没収される。	(医事検査) ステージ・レース中に本条 8 .(2)①に定めるドーピング違反が行われ、この件の処罰として警告が行われた場合には、自動的に失格としない。当該競技者が失格とならない場合には、競技者が陽性とみなされたステージの区間時間を 1% 加算し、すべての順位をこれに応じて修正する。当該競技者は、そのステージで得たすべての賞金を没収される。																								
特別規則のためのモデル(追加)																										
付表 2 :ロード・レースの区分(クラス)																										
2. Class 3 (1.3 + 2.3) (*)	大陸競技日程 ・ 招待によるTT(トレード・チーム)Ⅰ, TT/Ⅱ と TT/Ⅲおよび要請により混成チーム および随意に ・ ナショナル・チーム	大陸競技日程 ・ 招待によるTT(トレード・チーム)Ⅰ, TT/Ⅱ と TT/Ⅲおよび要請により混成チーム および随意に ・ ナショナル・チーム ・ <u>その他の構成のチーム(ヨーロッパ競技日程を除く)</u>																								
付表 3 :ペナルティ表																										
10.	<table border="1"> <tr> <td>スプリント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10.1 走行ラインを逸れて他競技者に危険をもたらした場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10.1.1 ワンデイ・レース</td> <td>失格 + 200</td> <td>失格 + 100</td> </tr> <tr> <td>10.1.2 ステージ・レース</td> <td>1 回目: 集団最後に降格 + 200 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + ポイント順位で 50 点減算 + 200 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 200</td> <td>1 回目: 集団最後に降格 + 100 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + 100 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 100</td> </tr> </table>	スプリント			10.1 走行ラインを逸れて他競技者に危険をもたらした場合			10.1.1 ワンデイ・レース	失格 + 200	失格 + 100	10.1.2 ステージ・レース	1 回目: 集団最後に降格 + 200 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + ポイント順位で 50 点減算 + 200 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 200	1 回目: 集団最後に降格 + 100 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + 100 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 100	<table border="1"> <tr> <td>スプリント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10.1 走行ラインを逸れて他競技者に危険をもたらした場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10.1.1 ワンデイ・レース</td> <td>失格 + 200</td> <td>失格 + 100</td> </tr> <tr> <td>10.1.2 ステージ・レース</td> <td>1 回目: 集団最後に降格 + <u>ポイント順位において当該ステージ 1 位得点に等しいペナルティ点</u> + 200 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + <u>ポイント順位において当該ステージ 1 位得点に等しいペナルティ点</u> + 200 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 200</td> <td>1 回目: 集団最後に降格 + 100 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + 100 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 100</td> </tr> </table>	スプリント			10.1 走行ラインを逸れて他競技者に危険をもたらした場合			10.1.1 ワンデイ・レース	失格 + 200	失格 + 100	10.1.2 ステージ・レース	1 回目: 集団最後に降格 + <u>ポイント順位において当該ステージ 1 位得点に等しいペナルティ点</u> + 200 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + <u>ポイント順位において当該ステージ 1 位得点に等しいペナルティ点</u> + 200 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 200	1 回目: 集団最後に降格 + 100 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + 100 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 100
スプリント																										
10.1 走行ラインを逸れて他競技者に危険をもたらした場合																										
10.1.1 ワンデイ・レース	失格 + 200	失格 + 100																								
10.1.2 ステージ・レース	1 回目: 集団最後に降格 + 200 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + ポイント順位で 50 点減算 + 200 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 200	1 回目: 集団最後に降格 + 100 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + 100 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 100																								
スプリント																										
10.1 走行ラインを逸れて他競技者に危険をもたらした場合																										
10.1.1 ワンデイ・レース	失格 + 200	失格 + 100																								
10.1.2 ステージ・レース	1 回目: 集団最後に降格 + <u>ポイント順位において当該ステージ 1 位得点に等しいペナルティ点</u> + 200 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + <u>ポイント順位において当該ステージ 1 位得点に等しいペナルティ点</u> + 200 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 200	1 回目: 集団最後に降格 + 100 + 総合成績に 30 秒 2 回目: ステージ最下位に降格 + 100 + 総合成績に 1 分 3 回目: 除外 + 100																								
11.	<table border="1"> <tr> <td>押す</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11.1 車、バイク、他競技者を押し退ける</td> <td>競技者に対して:</td> <td>競技者に対して:</td> </tr> <tr> <td>11.1.1 ワンデイ・レース</td> <td>違反 1 回につき 50</td> <td>違反 1 回につき 30</td> </tr> <tr> <td>11.1.2 ステージ・レース</td> <td>違反 1 回につき 50 + 10 秒 および大会特別規則によるポイント順位から 1 位減点</td> <td>違反 1 回につき 30 + 10 秒 および大会特別規則によるポイント順位から 1 位減点</td> </tr> </table>	押す			11.1 車、バイク、他競技者を押し退ける	競技者に対して:	競技者に対して:	11.1.1 ワンデイ・レース	違反 1 回につき 50	違反 1 回につき 30	11.1.2 ステージ・レース	違反 1 回につき 50 + 10 秒 および大会特別規則によるポイント順位から 1 位減点	違反 1 回につき 30 + 10 秒 および大会特別規則によるポイント順位から 1 位減点	<table border="1"> <tr> <td>押す</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11.1 車、バイク、他競技者を押し退ける</td> <td>競技者に対して:</td> <td>競技者に対して:</td> </tr> <tr> <td>11.1.1 ワンデイ・レース</td> <td>違反 1 回につき 50</td> <td>違反 1 回につき 30</td> </tr> <tr> <td>11.1.2 ステージ・レース</td> <td>違反 1 回につき 50 + <u>ポイント順位においてペナルティ 5 点</u> + 10 秒</td> <td>違反 1 回につき 30 + 10 秒</td> </tr> </table>	押す			11.1 車、バイク、他競技者を押し退ける	競技者に対して:	競技者に対して:	11.1.1 ワンデイ・レース	違反 1 回につき 50	違反 1 回につき 30	11.1.2 ステージ・レース	違反 1 回につき 50 + <u>ポイント順位においてペナルティ 5 点</u> + 10 秒	違反 1 回につき 30 + 10 秒
押す																										
11.1 車、バイク、他競技者を押し退ける	競技者に対して:	競技者に対して:																								
11.1.1 ワンデイ・レース	違反 1 回につき 50	違反 1 回につき 30																								
11.1.2 ステージ・レース	違反 1 回につき 50 + 10 秒 および大会特別規則によるポイント順位から 1 位減点	違反 1 回につき 30 + 10 秒 および大会特別規則によるポイント順位から 1 位減点																								
押す																										
11.1 車、バイク、他競技者を押し退ける	競技者に対して:	競技者に対して:																								
11.1.1 ワンデイ・レース	違反 1 回につき 50	違反 1 回につき 30																								
11.1.2 ステージ・レース	違反 1 回につき 50 + <u>ポイント順位においてペナルティ 5 点</u> + 10 秒	違反 1 回につき 30 + 10 秒																								
付表 5 - 1 :自転車競技場および施設に関する基準要項																										
4 .	保護地帯 競走路のブルーバンドの内側に、最少幅員 3.5m の保護地帯を設ける。ここには危険な障害物を一切置いてはならない。	<u>安全地帯</u> 競走路の内側に、 <u>ブルーバンドを含めて</u> 最少幅員 4m の <u>安全地帯</u> を設ける。ここには危険な障害物を一切置いてはならない。																								
8 - 1 .	競走路の内縁から内側を最少 60cm 幅でブルーに塗り、これをブルーバンドと称する。ブルーバンドは競走に用いない。	競走路の内縁から内側を最少 <u>走路の 10% 幅</u> でブルーに塗り、これをブルーバンドと称する。ブルーバンドは競走に用いない。																								
付表 6 :リザルト等の様式見本(追加)																										

条 項	2002年版	2003年版
競技者登録規程		
第2条2.	都道府県車連は、前項により登録申請書を受理したときは、登録申請書を作成して集計して本連盟に提出する。	都道府県車連は、前項により登録申請書を受理したときは、集計し <u>日本自転車競技連盟登録システム</u> に入力する。
第2条3.	競技別委員会が担当する競技種目に主として参加しようとする競技者の登録については、競技運営委員会と競技別委員会がその登録手続きについて担当する。	(削除)
第4条 カテゴリ;アマ(3)	当該暦年中に達する年齢によりジュニア、アンダー23、エリートに区分する。 ジュニア(区分:"J"):18歳未満の競技者 アンダー23(区分:"U"):18歳以上23歳未満の競技者 エリート(区分:"E"):23歳以上の競技者	当該暦年中に達する年齢によりジュニア、アンダー23、エリートに区分する。 ジュニア(区分:"J"): <u>16歳~18歳</u> の競技者 アンダー23(区分:"U"): <u>19歳~22歳</u> の競技者 エリート(区分:"E"):23歳以上の競技者
カテゴリ;ビギナー(2)	当該暦年中に15歳に達しない競技者は原則としてすべてビギナー登録とする。	当該暦年中に <u>16歳</u> に達しない競技者は原則としてすべてビギナー登録とする。
第5条2.	国内ライセンスの申請期日 継続申請は、毎年2月1日より2月末日までとする。 新規と再登録申請は、毎年4,5,6,7,8月と10,11月の末日までとする。	国内ライセンスの申請期日 継続申請は、毎年2月1日より <u>3月30日</u> までとする。 新規と再登録申請は、 <u>4月1日~1月31日</u> までとする。
第5条4.	発行の期日 登録証は、各申請受け月の翌月末日までに発行する。	発行の期日 登録証は、各申請受け <u>日から1ヶ月以内</u> に発行する。
第10条2.	本連盟は、変更内容を確認のうえ登録証の当該事項を訂正し発行する。	<u>都道府県車連</u> は、変更内容を確認のうえ登録証の当該事項を訂正し発行する。
第11条	登録競技者が登録証を紛失または破損したときは、競技者登録証再発行申請書に別に定める再発行料を添え、都道府県車連を通じて本連盟に申請する。それにより本連盟は再発行し交付する。	登録競技者が登録証を紛失または破損したときは、競技者登録証再発行申請書を、都道府県車連を通じて本連盟に申請する。それにより <u>都道府県車連</u> は再発行し交付する。
第11条2.	破損の場合は、その登録証を本連盟に返還する。	破損の場合は、その登録証を <u>都道府県車連</u> に返還する。
公認審判員規程		
第3条3.	公認審判員登録申請書は3月1日(新交付の1ヵ月前)から受け付けを開始する。	公認審判員登録申請書は <u>2月1日</u> から受け付けを開始する
第4条2.	登録された公認審判員には、本連盟は申請のあった加盟団体を經由して4月1日以降有効の登録証を交付する。ただし、年度の途中で登録された者はこの限りでない。	登録された公認審判員には、加盟団体が4月1日以降有効の <u>公認審判員登録証(以下「登録証」)</u> を交付する。ただし、年度の途中で登録された者はこの限りでない。
第8条3.	本連盟は提出された再交付申請書を審査し、登録台帳を変更し、登録証を再発行する。	<u>加盟団体</u> は提出された <u>公認審判員登録証</u> 再交付申請書を審査し、登録台帳を変更し、登録証を再発行する。
第12条	本連盟に登録された公認審判員は公認審判員証に記載された競技種目に審判として従事することができる。	本連盟に登録された公認審判員は公認審判員 <u>登録証</u> に記載された競技種目に審判として従事することができる。
第17条2.	公認審判員は、公認審判員証を着用して、競技会の審判に従事しなければならない。	公認審判員は、公認審判員 <u>登録証</u> を着用して、競技会の審判に従事しなければならない。



第2回トラック・ナショナルチーム強化合宿

2月23日から27日までの5日間、群馬県のグリーンドーム前橋において、今年2回目になるトラック短距離のナショナルチームおよび強化指定選手の特別育成チームの強化合宿が行なわれ9名の選手が参加した。

また、ロードの強化合宿も3月31日に東京の国立スポーツ科学センター（JISS）集合後、4月5日まで日本CSCにおいて行われる予定。



平成 14 年度 全国自転車競技指導者研修会

本連盟主催の有資格指導者対象の研修会が3月2日（日）日本体育大学スポーツトレーニングセンター（横浜・健志台キャンパス）で開催された。

全国より男子30名、女子2名の計32名の指導者が参加。講義は連盟強化コーチの永友憲治氏による「自転車競技におけるウェイトトレーニング」が行われた。

永友 憲治 ナガトモケンジ

1971年生

1994年日本体育大学体育学部卒

JCF強化コーチ・ストレンクス担当

国立スポーツ科学センター勤務

専門分野：トレーニング実技方法論

専門競技：ウェイトリフティング



資格審査委員会 決定事項

平成15年3月7日に行われた本連盟資格審査委員会において、下記競技者資格に関し、UCI及びJCF規則に基づき下記のとおり処分を科すことを決定しました。

- 1 競技者 狩野 智也（シマノレーシングチーム、国際ライセンス番号03028）
- 2 事由 平成15年2月9日、2003年ツール・ド・ランカウィ第10ステージにおけるアンチドーピング検査の際、検査対象となったにもかかわらず、自己の責任において対象者の確認をせず、結果として出頭しなかった。
- 3 決定 平成15年2月22日より3月21日までの1ヶ月、選手の資格を停止する。
また、罰金586スイスフランを科す。
- 4 適用条項 UCIアンチドーピング検査規則第72条、128条及び132条

JCF 競技規則 2003 年版

4月1日からの競技規則改定に伴い、「JCF競技規則集2003年版」が出来上がりました。

詳しくは、各加盟団体（都道府県車連）にお問合せください。

2003年度レース・カレンダーの変更

	期 日	大 会 名	場 所
トラックレース	4月13日	第3回全日本実業団トラック記録会	静 岡・日本CSC
B M X	4月20日	第6回西日本BMX選手権 兼 JBMXFジャパンシリーズ#1	大 阪・堺
ロードレース	8月14日 ~ 17日	第11回三笠宮杯ツール・ド・とうほく	東北地域

競技運営委員会よりのお知らせ

2003年トラックレース・ポイント付与大会追加について
本誌No.95(2003年2月号)6ページで発表いたしました大会に下記の大会
が追加されました。

全日本実業団トラック記録会

グレード:D-2、係数:0.8、大会別変動係数:1--0.6

ポイントは2002年と同じ 1位300p、2位240p、3位195p、……12位33p

競技大会結果

サイクルサッカーワールドカップファイナル
(2/8ドイツ・ボブリンゲン)

- | | | |
|---|------------------------|--------|
| 1 | マルコ・シャレット/ライナルト・シュナイダー | オーストリア |
| 2 | ラディム・ハサン/パヴェル・ロスコト | チェコ |
| 3 | パベル・シュミット/パトル・スコタク | チェコ |
| 8 | 都築 勝巳/松田 鋼 | 日本 |

加盟団体事務局の住所変更について

和歌山県自転車競技連盟

〒640-0115 和歌山県和歌山市つつじが丘3-25-1 岡本 健 様方 TEL: 073-454-3553

日本プロフェッショナルサイクリスト協会

〒174-0046 東京都板橋区蓮根3-14-29 TEL: 03-5970-5771 FAX: 03-5970-5773(TELFAXは変更無し)

全国高体連自転車競技専門部

〒857-0011 長崎県佐世保市春日町29-22 西海学園高等学校内 針浦様 TEL: 0956-23-6161 FAX: 0956-23-6164

ACCトラックアジアカップ2003 日本ラウンド

ACC Track Asia Cup 2003, JAPAN ROUND

1年後に迫った
アテネオリンピックに向け、
日本の短距離陣も総登場!

ACC Track Asia Cup 2003

Final Round Japan 7-8 June

全3戦で争われるアジア地区の国別対抗戦「トラックアジアカップ」。
第1戦タイ、第2戦マレーシア。そしていよいよ日本での最終戦。

期 日 2003年6月7日(土) 8日(日)

場 所 千葉県松戸市・松戸競輪場(JR常磐線・北松戸駅から徒歩3分)

実施種目と国別の参加枠

大 会 種 目	アジアカップ		ネイションズカップ	
	男子	女子	男子	女子
スプリント	2	2	2	2
タイムトライアル	1	1	1	1
ケイリン	2	-	-	-
チームスプリント	1チーム	-	1チーム	-
個人追抜競走	1	1	2	1
ポイントレース	2	2	2	2
団体追抜競走	1チーム	-	1チーム	-
マディソン	1チーム	-	-	-

同時開催!!

UCIジュニアトラック ネイションズカップ2003 アジア地区決勝

アジアカップに引き続き、9日(月)には
国際自転車競技連合主催のジュニア選
手によるネイションズカップアジア地
区決勝戦が開催される。

広報委員会からのお知らせ 広報誌「シクリスムエコー」定期購読のご案内

平成14年度より「シクリスムエコー」個別郵送ご希望の方には郵送手数料の一部をご負担いただきましたが、広報委員会において検討しました結果、平成15年度につきましてもご負担をお願いすることになりました。なお15年度の発行回数は10回を予定しております。また、勝手ながら年度途中でのお申し込みにつきましても4月号からの1年分とさせていただきます。皆様のご理解をお願い申し上げます。

平成15年度 1,200円(1年分)

同封の郵便振替用紙(振込手数料JCF負担)で、お近くの郵便局よりお申し込みください。
各加盟団体(都道府県車連)事務局や一部自転車関連施設にもこれまで通り送付いたしますので、ご来訪できる方はご利用ください。
また、これまで通り、JCFホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。<<http://www.jcf.or.jp>>
なお、JCF維持会員の皆様へはこれまで通り無料でお送りいたします。

連盟の動き(2月下旬～3月中旬)

- 2月19日 女子ロードワールドカップ#1他 選手団出発 於: オーストラリア(帰国 3/3)
- 23日 トラック短距離強化合宿 於: 前橋(～27日)
- 27日 第3回総務委員会
- 3月7日 第2回資格審査委員会・第7回常務理事会兼強化本部会
- 8日 JISS DITS ワークショップ 於: 東京・北区 国立スポーツ科学センター(JISS)
- 9日 MTB 3級公認審判講習会 於: 東京・港区 自転車会館
- 13日 JOC 情報戦略フォーラム 於: 東京・渋谷区 岸記念体育会館
- 14日 第3回理事会
自転車月間事業合同会議
- 17日 トラックワールド・ド・カップ#2選手団出発 於: メキシコ(帰国 3/26)

編集後記

一昨年の4月から、広報委員会のメンバーとして、シクリスムエコーの編集も含めて自転車競技のPRに協力してきた。はじめに気付いたことは、連盟の業務としては当然のことながら、連盟登録者に対する競技成績やレース・カレンダー等のお知らせが中心であることだった。自転車競技の広報を通じて、広く一般に競技の啓蒙普及を図ったり、競技者層の拡大を積極的に図るというものではなかった。

しかし、途中からインターネット・ホームページで積極的な展開を行ったり、マスコミの取材に現場での対応を図ったり等、徐々に一般に向けての動きが加速されてきた。

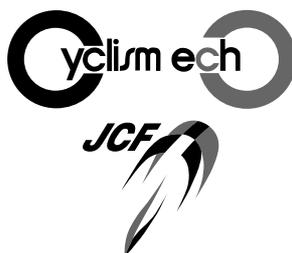
つい、最近のことだが、発行部数最大を誇る大手新聞社の「見るのが好きなスポーツ」の世論調査の結果を見て、自転車レースの関心の低さに驚いてしまった。何とたったの1.4%、33種目中のワースト3位であった。因みにワーストはビーチバレーの1.0%、次がバドミントンだった。トップはプロ野球の57.0%で9年連続。次いでマラソンの36.7%、駅伝35.1%。他にはプロサッカーが27.6%で6位だった。(複数回答)

好きなスポーツ選手はプロ野球が最も多く、1位から3位の上位を含めベスト20に10人と半数を占めている。これにプロサッカーの4人が続いている。残念ながら、自転車競技の選手は1名も含まれていなかった。

スポーツに関する情報源については、テレビ番組の84%が最多で、一般紙の記事が55%と続く。インターネットの情報は7%で5位。これを挙げた人は若年層に多く、20才代では16%と全体平均の倍以上にのぼるといふ。

人気のあるスポーツは競技者層の厚さに加えて優れた指導者も多く、スターも輩出し易い環境にある。

自転車競技の人気アップのためには、野球やサッカーには及ばなくともゴールデンエージと言われるジュニア層に至るまで競技者層を拡げ、指導者を充実させる方策、併せてマスコミへの情報提供が必要不可欠と思われる。(佐藤米治)



シクリスムエコー No.96 2003年3月号

発行/財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/岩 楯 昭 一

編集人/村 田 統 司

編集事務局/財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>